

今どうして医療・福祉・教育の 密な連携が必要なのか ～スマートサイト始動の意義～

今年度3回目の研修会は、視覚障害リハビリテーション協会前会長の吉野由美子先生を講師にお迎えして、支援者の連携について勉強したいと思います。

いま、日本では高齢化が叫ばれていますが、視覚障害者支援の現場でも“地域共生社会”に向けて、私たちにできることは何なのか考えていく必要があると思われます。

吉野先生は長く福祉の現場に携わり当事者としても意見を多く述べられ、日本の視覚障害リハビリテーションの普及に尽力してこられました。スマートサイト普及に関しても全国的な動向を受け止めていらっしゃる吉野先生から、学ぶ機会となればと思います。皆様方のご参加をお待ちしています。

講師

よしの ゆみこ

吉野 由美子 氏

視覚障害リハビリテーション協会
前会長

昭和22年（1947年）11月東京生まれ

小眼球で先天性白内障失明状態で生まれる

生後3ヶ月の時母が私の目の異常に気づき、必死で眼科医を探した。

生後6ヶ月から7回ほどに分けて水晶体を摘出、矯正視力0.04の視力を得る。

3歳時に原因不明の大腿骨がXに曲がる症状発症。視覚と肢体の重複障害者として生きて来た。

1955年（昭和30）東京教育大学付属盲学校（現筑波大学視覚支援学校）小学部に入学。その頃の盲学校では、弱視でもすべて点字で教育を受けた。高等部普通科を卒業後2年浪人して、初の点字受験生として日本福祉大学社会福祉学部に入学

1974年（昭和49）「中途視覚障害者の相談に乗ること」を期待していただき名古屋ライトハウス明の星声の図書館（現名古屋盲人情報文化センター）に就職、2年間で延べ50名の中途視覚障害者に会って、視覚障害リハビリテーションを我が国に普及させることをライフワークと思い定める。

1977年障害者雇用枠で東京都児童相談センターに就職、40歳の時「さらに福祉を勉強したい」と思い立ち、日本女子大学大学院修士課程に入り、卒業後東京都立大学人文学部社会福祉学科助手を経て、1999年高知女子大学講師として赴任。高知では、視覚リハもロービジョンケアもほとんどの人が知らないといわかり、大学の地域貢献活動と位置づけて、高知で視覚リハのデリバリーサービスを行う「ルミエールサロン」の立ち上げに関与して、そこで主に相談員の役割を行う。

その活動の中で視覚障害リハビリテーション協会に入り、役員を経て2009年から10年間会長を務める。

視覚と肢体の重複障害であることと、ロービジョンであるということをいつも念頭におき、高知という地域で経験したことを大切に、独自の考えで動いている。

現在電動車いす使用、パラリンピックの聖火ランナーに応募している。体調を崩すまでやっていたスキューバダイビングに再挑戦したいと思っている。

日 時：令和2年2月15日（土）

14時30分～16時30分（14時開場）

会 場：佐賀市立図書館 2階大集会室

研修費：500円（資料代として）

申 込：FAXもしくはE-mailでお申し込みください

連絡先

たかだ電動機(株)視覚障害者支援部てんとうむし

研修担当 梅崎 智香

電話 0955-62-2888

FAX 0955-62-5465

E-mail: tentoumushi.chika@takada-dendouki.com

第6回佐賀県視覚障害者支援ネットワーク研修会 申込票

たかだ電動機(株)視覚障害者支援部てんとうむし 行

メール tentoumushi.chika@takada-dendouki.com

FAX 0955-62-5465

開催日：令和2年2月15日（土）

時 間：午後2時30分（受付午後2時～）

場 所：佐賀市立図書館 2階大集会室

研修費：500円（資料代として）

※申込期限：2月10日(月)まで

参加申し込み		
出席者名	所属	
	職名	
	氏名	
連絡先	電話	
	メール	
研修費領収証について	不要・要（宛名： ）	
懇親会出欠	希望する ・ しない	

ご意見・ご質問などご記入ください

※吉野先生を囲んでの懇親会を企画しております。会費は4000円程度の予定です。

詳細は追ってお知らせしますのでご希望の方はお知らせください。



連絡先

たかだ電動機(株)視覚障害者支援部てんとうむし

研修担当 梅崎 智香

〒849-3201 佐賀県唐津市相知町相知2139-1

電話 0955-62-2888 FAX 0955-62-5465

E-mail : tentoumushi.chika@takada-dendouki.com